



人類に
奉仕する
ロータリー



John

ジョン・ジャーム
2016-17年度国際ロータリー会長

No.3

Takasago Rotary Club

週報

高砂

クラブ会長方針

“すばらしい仲間を持とう”

- ① ロータリーは親睦から
- ② 利他の心を持とう
- ③ フィロソフィを持とう

例会記録 (2016. 7. 15 (金)) 通算3,087回

◆開会

◆唱歌 ロータリーソング「我等の生業」

◆「四つのテスト」唱和

◆新入会員紹介 中山英之氏

◆歓迎歌「松の緑」

◆プログラム予定

7月22日 (金)	7月29日 (金)	8月5日 (金)	8月12日 (金)
クラブフォーラム 2016～2017 事業計画発表 各委員長	クラブアッセンブリー ガバナー補佐訪問 ガバナー補佐 矢野宗司氏	卓話 「RYLA セミナーの報告」 小西智由氏 (セミナー受講生)	休会 (お盆休み)

◆新入会員紹介

中山 英之氏



◆出席報告

本日	7月15日	会員数37名	出席者27名	出席率	77.14%
前々回	7月1日	会員数37名	修正出席者37名	出席率	100.00%修正

◆MAKE-UP

堤 哲雄	会員	e-CLUB	7月13日	(7月15日)
後藤 宗久	会員	e-CLUB	7月12日	(7月15日)

◆S. A. A. (ニコニコ箱報告)

中野 哲郎会長…… Jパワー中山英之様の入会を祝して。一緒に高砂ロータリークラブで楽しみましょう。

森本 幸吉会員…… Jパワー中山英之様、入会おめでとうございます。

丸山 恵右会員……本庄さん、ようこそ！

早退1名

◆幹事報告 (3,087回)

〈国際ロータリーより〉

◎ロータリー財団創立100周年祝賀事業ポリオ撲滅チャリティーゴルフコンペのご案内

日時 2016年10月20日(木) 開門午前7時

場所 小野東洋ゴルフクラブ

兵庫県小野市日吉町570-1

◎コーディネーターニュース7月号が届いております。

〈ガバナー事務局より〉

◎ロータリーの友用『財団100周年行事に関する問い合わせ』のアンケートが届いております。



豊田克義幹事

〈例会変更のお知らせ〉

◎高砂青松ロータリークラブ

8月10日(水) → 移動例会 (社会奉仕事業例会)

高砂市文化保健センター 中ホール

8月17日(水) → 休会 (お盆休み)

8月24日(水) → 8月26日(金) PM 12:30～

高砂RCとの合同例会 ウェディングパレス鹿島殿

◎加古川ロータリークラブ

8月 9日(火) → 納涼例会のため4日(木) 18:30～

於：六甲山ホテル

8月16日(火) → 休会 (盆休み)

9月20日(火) → 例会取止め『定款第6条第1節 (C)』

〈その他〉

◎国際基督教大学より東ヶ崎潔記念ダイアログハウス募金への御礼が届いております。

◎高砂市国際交流協会より国際交流通信7月号が届いております。

◆会長の時間

フィロソフィ (経営哲学) が必要な理由

参院議員選挙が終わったと思ったら、次は舛添前知事の辞任の後の都知事選が始まりました。政治も会社も経営という観点から、フィロソフィが必要だと思います。私は政治家ではないので、会社とロータリーから今日も話したいと思います。

会社を成長発展させていくためには、従業員をひとつにまとめ、全社員が同じ目的に向かってベクトルを合わせ、全社一丸となって経営に取り組んでいかなければなりません。このことは私達ロータリークラブにも同じことが言えます。

ロータリークラブは、各自の職業を通じての「奉仕の理想」を目的とし、「1. 広く知り合いを求めて奉仕の機会を多く持つ 2. 各自の職業に誇りをもってその道徳的基準を高める 3. 公私の別なく奉仕の理想を実行する 4. 理解と友情を世界に広める」という4つの道を掲げています。

それを基に高砂ロータリークラブでは、「“すばらしい仲間を持とう” ①ロータリーは親睦から ②利他の心を持とう ③フィロソフィを持とう」を今年度のクラブ会長方針として掲げました。その実現に向けて各委員会で活動を行っていくわけですが、やはり会員や職員全員のベクトルが合っていないければ「奉仕の理想」という最終目的に近づくことなどできません。



中野哲郎会長

では、多数の会員や職員のベクトルをどうやって合わせていけばいいのでしょうか。会社では、企業理念や社是等、各社それぞれが目指すビジョンを掲げていますが、しかし社員にとっては漠然としていて、具体的に会社は何を目指していて、私たちは何をするのか、どうすればいいのかがわからないと思います。それを理解してもらうためにも私は会長方針の3番目に掲げたフィロソフィ、つまり経営哲学が必要だと考えます。

京セラの創業者である稲森和夫名誉会長は、自分の考え方を社員に理解してもらうために、「京セラフィロソフィ手帳」を作り、浸透させることによって社員と一緒に目的に向かってベクトルを合わせることを実践した結果、わずか28人でスタートした会社を、今ではグループで売上1兆円超、従業員数も約7万人という超巨大企業にまで発展させました。

中野プランツでも、社是「中野プランツはみなさんがしあわせになるための道具です。」を実現するため、社内プロジェクトチームを通じて全社員が100のタイトルと解説文を作り上げた「中野プランツフィロソフィ手帳」を平成26年8月に発刊し、現在も毎日輪読することで浸透を図っています。

最初は同じタイトルでも全く異なる理解をしている社員もいましたが、今では浸透も進み、ベクトルが少しずつ合ってきたと実感している次第です。ロータリークラブでも「奉仕の理想」の目的実現に向け、会員や職員全員が同じ方向を向いて活動できる工夫をしなければ、力が分散されて違った方向に進んでしまいます。そのためにも全員でベクトルを合わせ、今年度クラブ会長方針で掲げた3つの柱を実践していきたいと思います。

◆本日のプログラム

クラブフォーラム

「2016～2017事業計画発表」 各委員長

会 長 中野 哲郎 幹 事 豊田 克義
例会日時 毎週金曜日12時30分より
高砂ロータリークラブのホームページのURL

雑誌会報委員長 後藤 宗久
例会場 高砂商工会議所2階会議室
http://www.winwin.ne.jp/~takasago_rc/